

国立療養所長島愛生園「収容棧橋」 保存（活用）整備基本設計案 劣化・破損防止/保存修復・活用のための短・中期整備案（1 / 2）

収容棧橋の何を保存継承するのか・何を感じ取れる場として活用すべきか

- ① 患者にとっての島への最初の入口としての象徴性  
(これまでの暮らしとの決別・島での暮らしのはじまりの場)
- ② 増改築の形跡（改変履歴） 木造桁から鉄筋コンクリート桁へ
- ③ 本来の用途として供用がなされなくなった後、今日に至るまでの時間経過を象徴する廃墟の景観
- ④ (結果として... 納骨堂(終の場)と対峙する位置関係にある)...

2つの価値を守り伝える

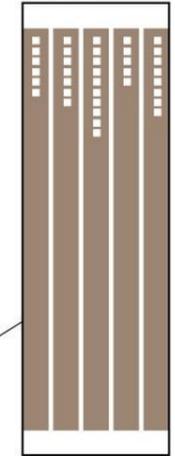
(1) 「もの」の価値

主に水面より上の桁部分（上部構造）は手厚く保護の措置を講じてもいずれ朽ちる。（保存措置≒延命措置にしかすぎない。）むしろ時間経過の流れを止めず、自然に任せることこそが価値の継承にとっては重要。一方、ここに橋があったという証跡は保護すべき。橋脚（下部構造）の痕跡を保護することは可能。

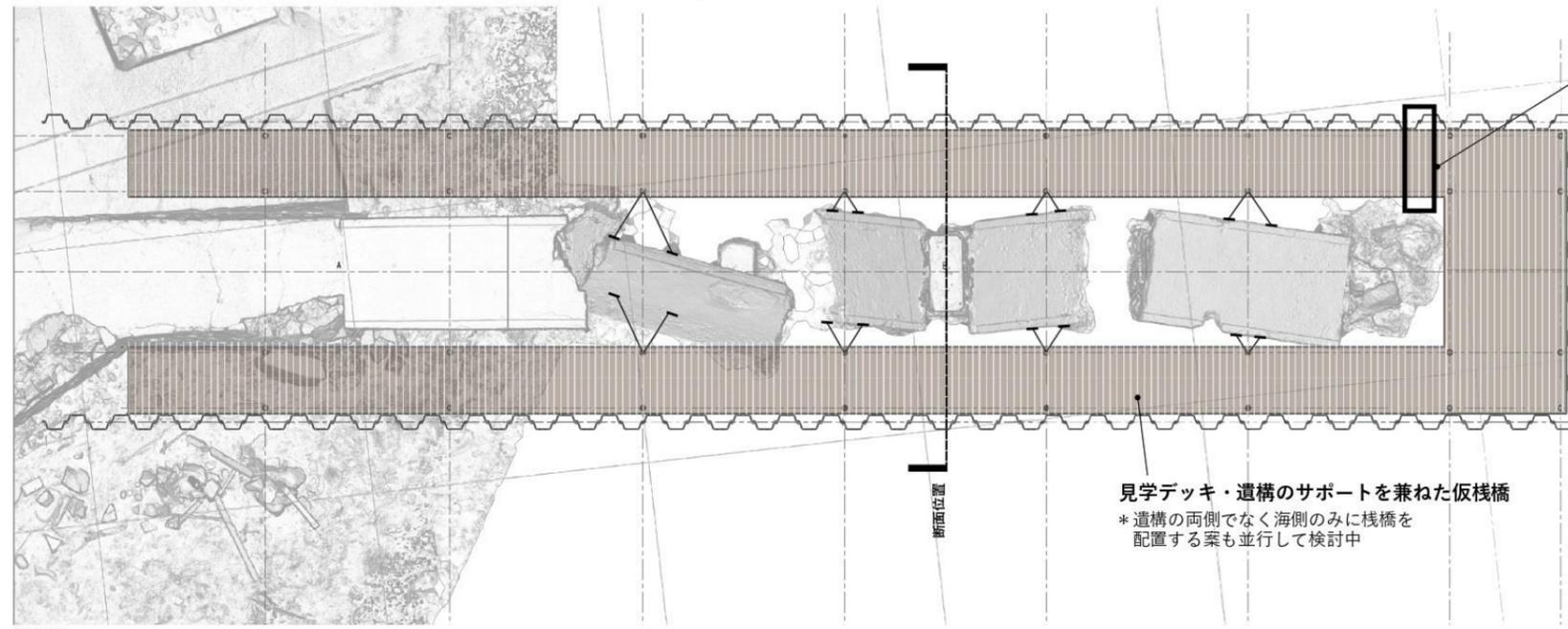
(2) 「場」の価値

虫明からの渡船により、はじめて島へ入る場としての「象徴性」・「動線」を継承する

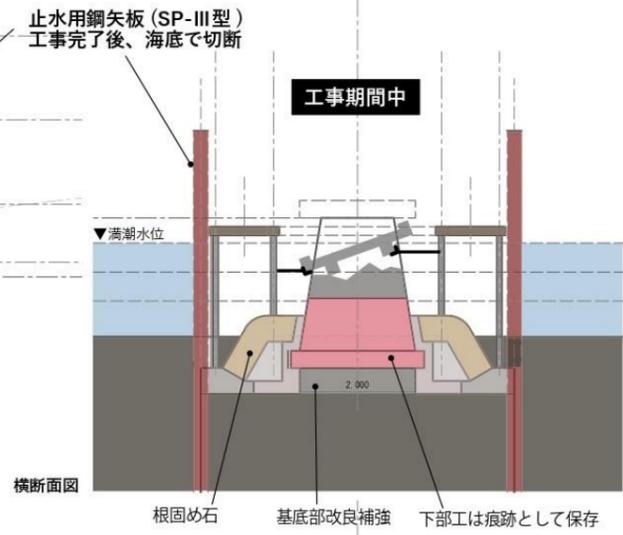
デッキの部分拡大



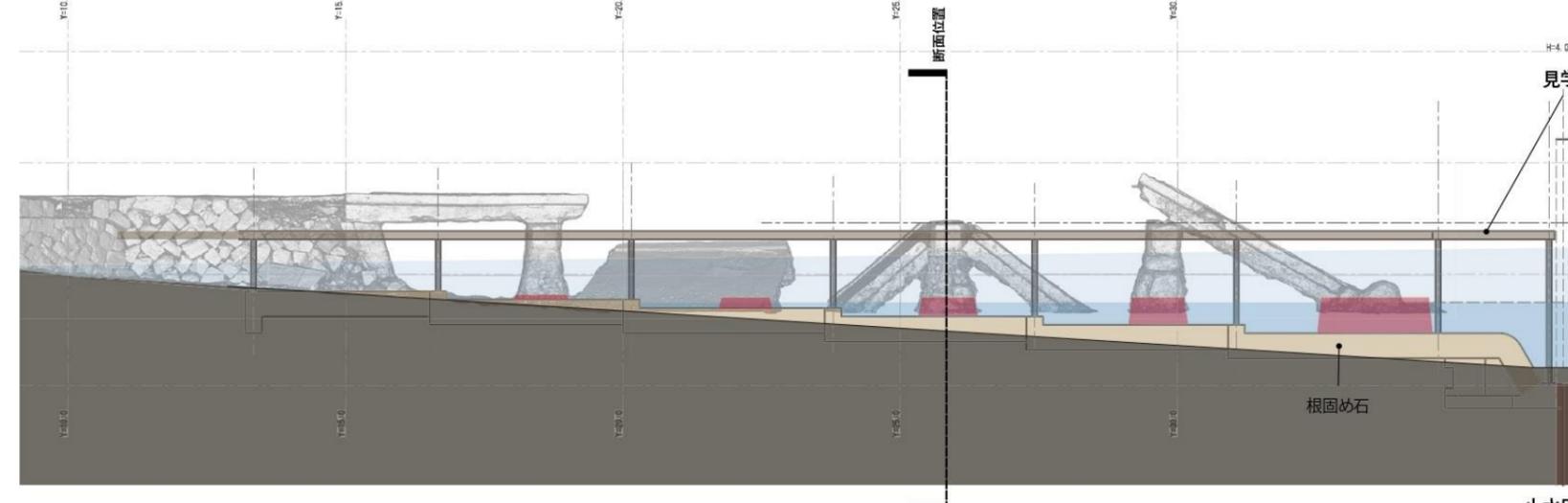
園の歴史・出来事を年表のように刻むなどの工夫も考えられる。



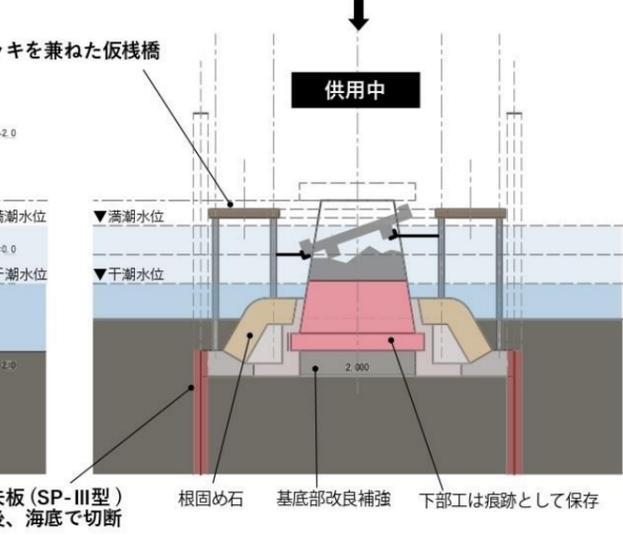
平面図



横断面図



立面図



止水用鋼矢板 (SP-III型) 工事完了後、海底で切断

供用中

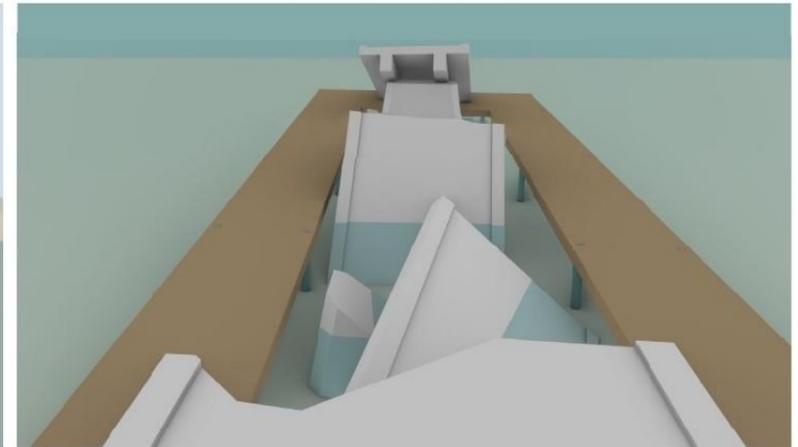
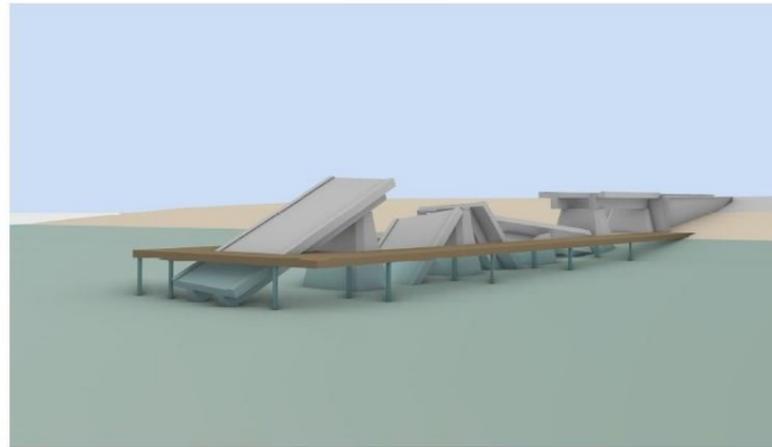
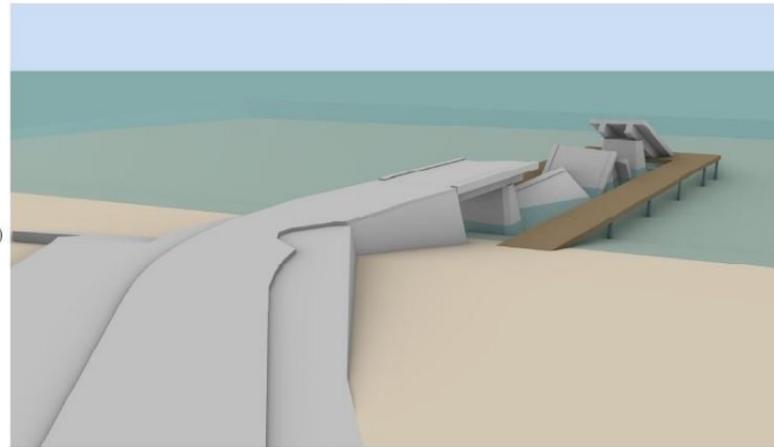
国立療養所長島愛生園「収容棧橋」 保存（活用）整備基本設計案 劣化・破損防止/保存修復・活用のための短・中期整備案（2 / 2）

視点1（陸から）

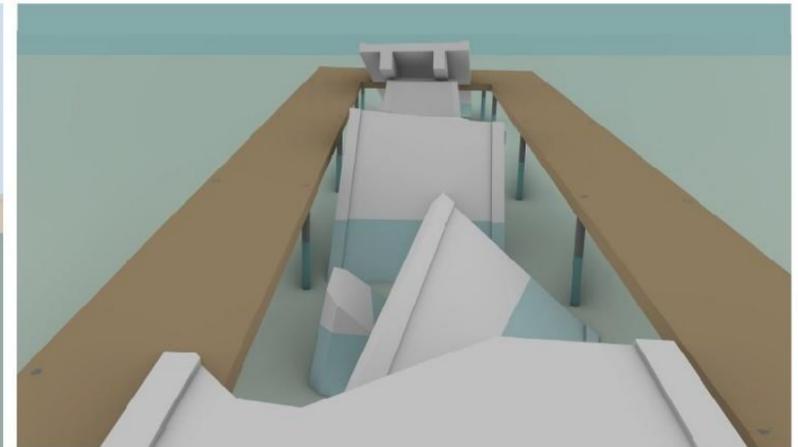
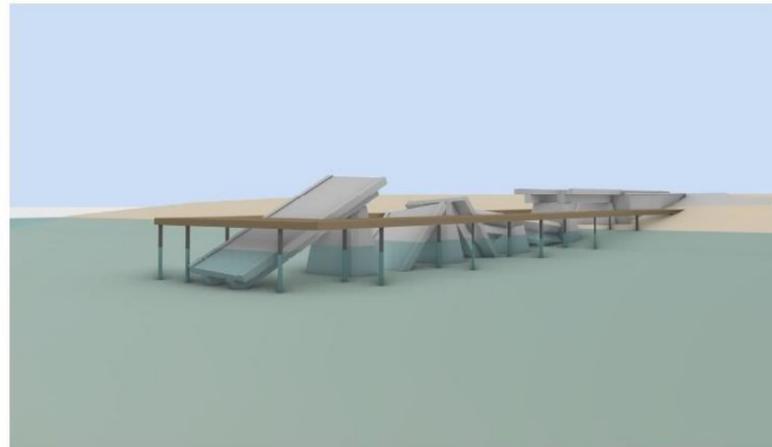
視点2（船から）

視点3（棧橋軸線上の眺め）

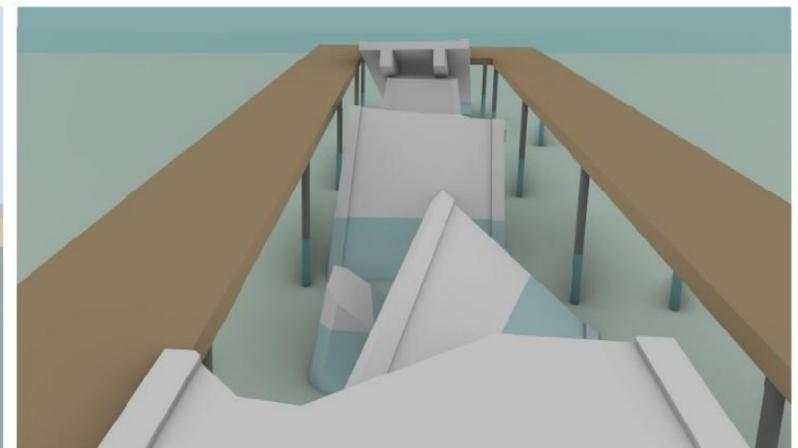
**A 案**  
(既存橋面 -1.5m)



**B 案**  
(既存橋面 -1.0m)



**C 案**  
(既存橋面 -0.5m)



※見学用棧橋を両脇に設けるべきか否かは、今後の検討・協議による。

国立療養所長島愛生園「監房跡」 水抜・内部構造調査 (Br1/監禁室 内部 カメラ撮影)



※西面（海側） 漆喰が削り込まれた痕跡が確認できる。古写真等の文献史料から、収監された入所者による落書き跡の可能性が指摘できる。

国立療養所長島愛生園「監房跡」 保存（活用）整備基本設計案 劣化・破損防止/保存修復・活用のための短・中期整備案（1 / 2）

施工ステップ

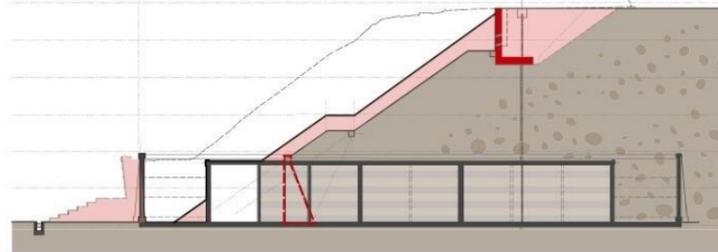
Step 1 : 第1段階法面盛土除去



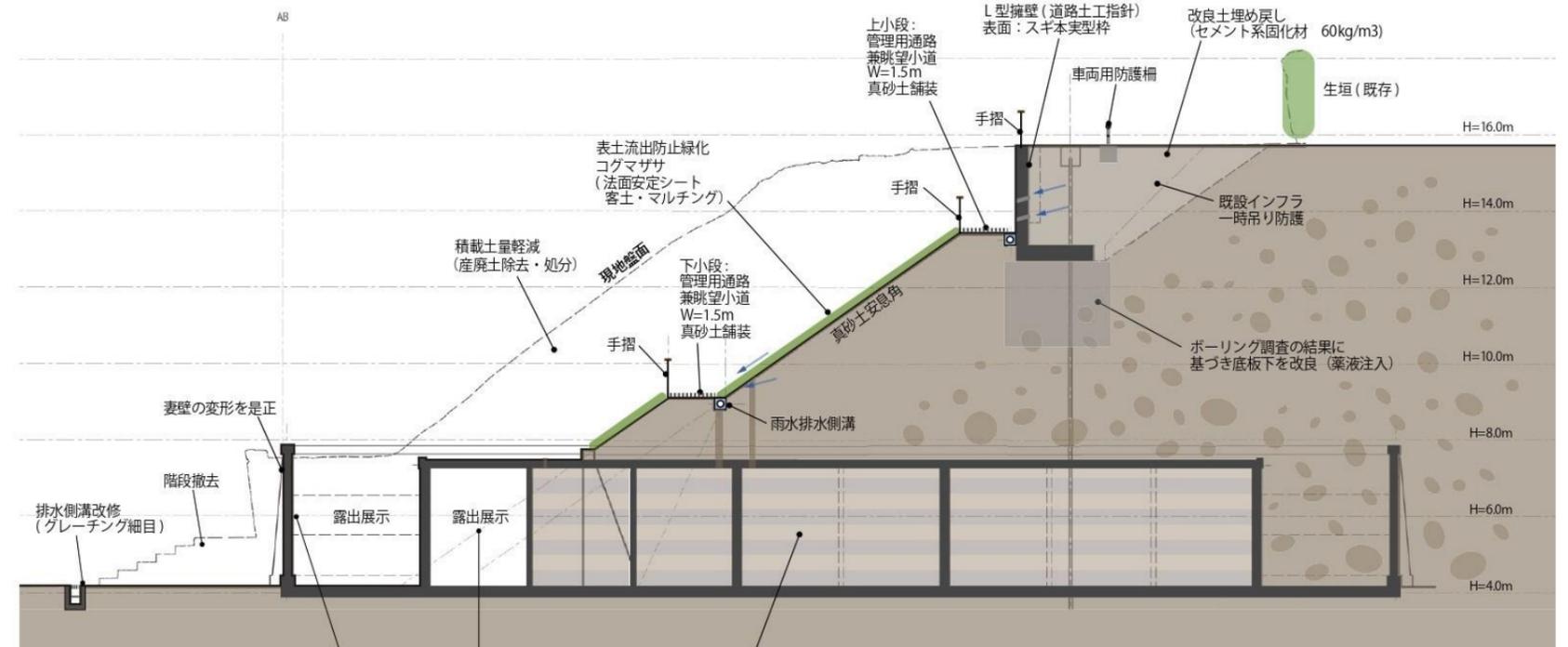
Step 2 : 内部空隙充填・一部地盤改良



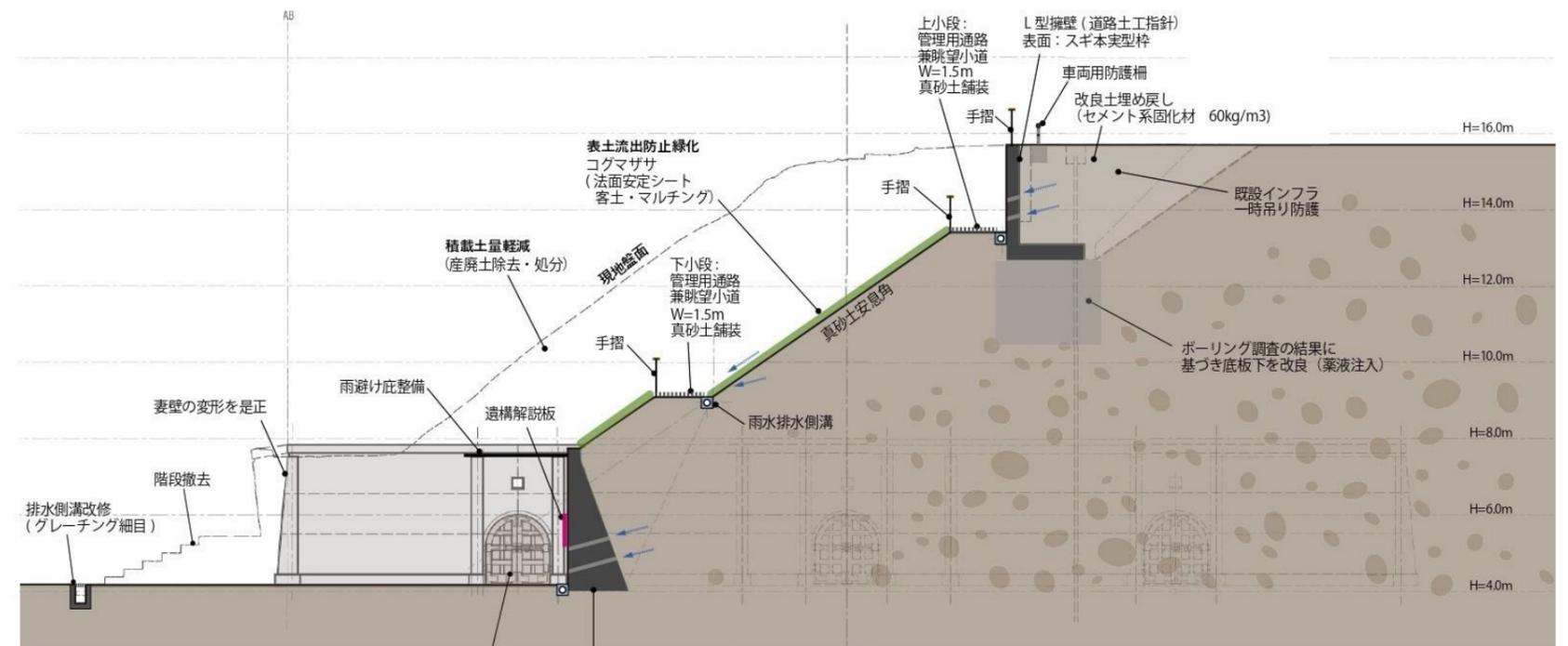
Step 3 : 第2段階法面盛土掘削、擁壁施工、階段撤去・妻側壁面変形是正



Step 4 : 法面保護工・排水対策工・その他環境整備



整備断面図

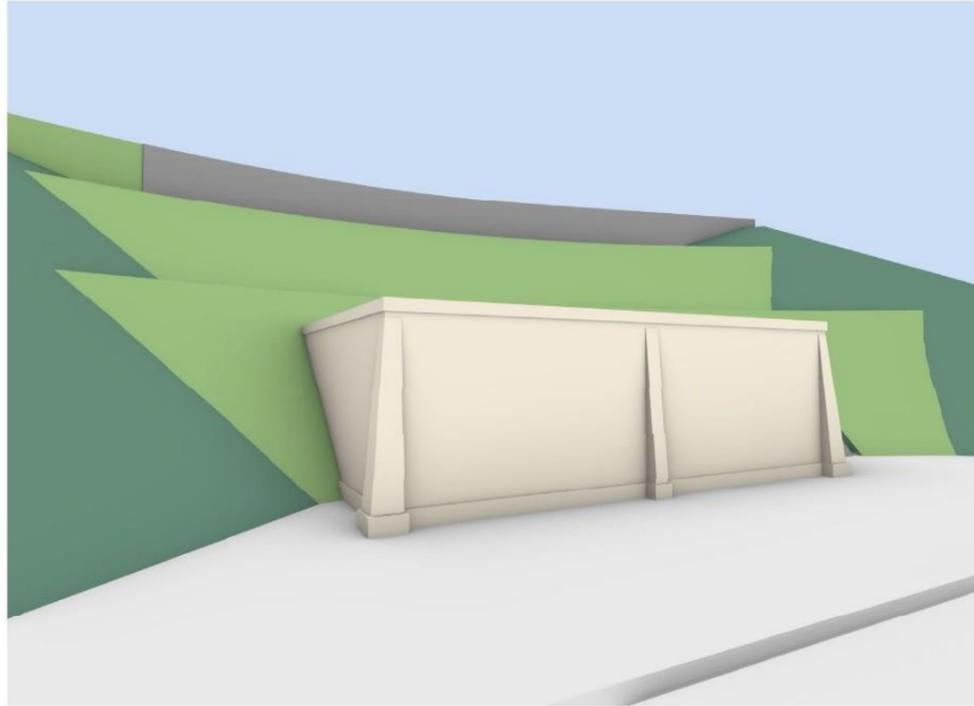


整備立面図

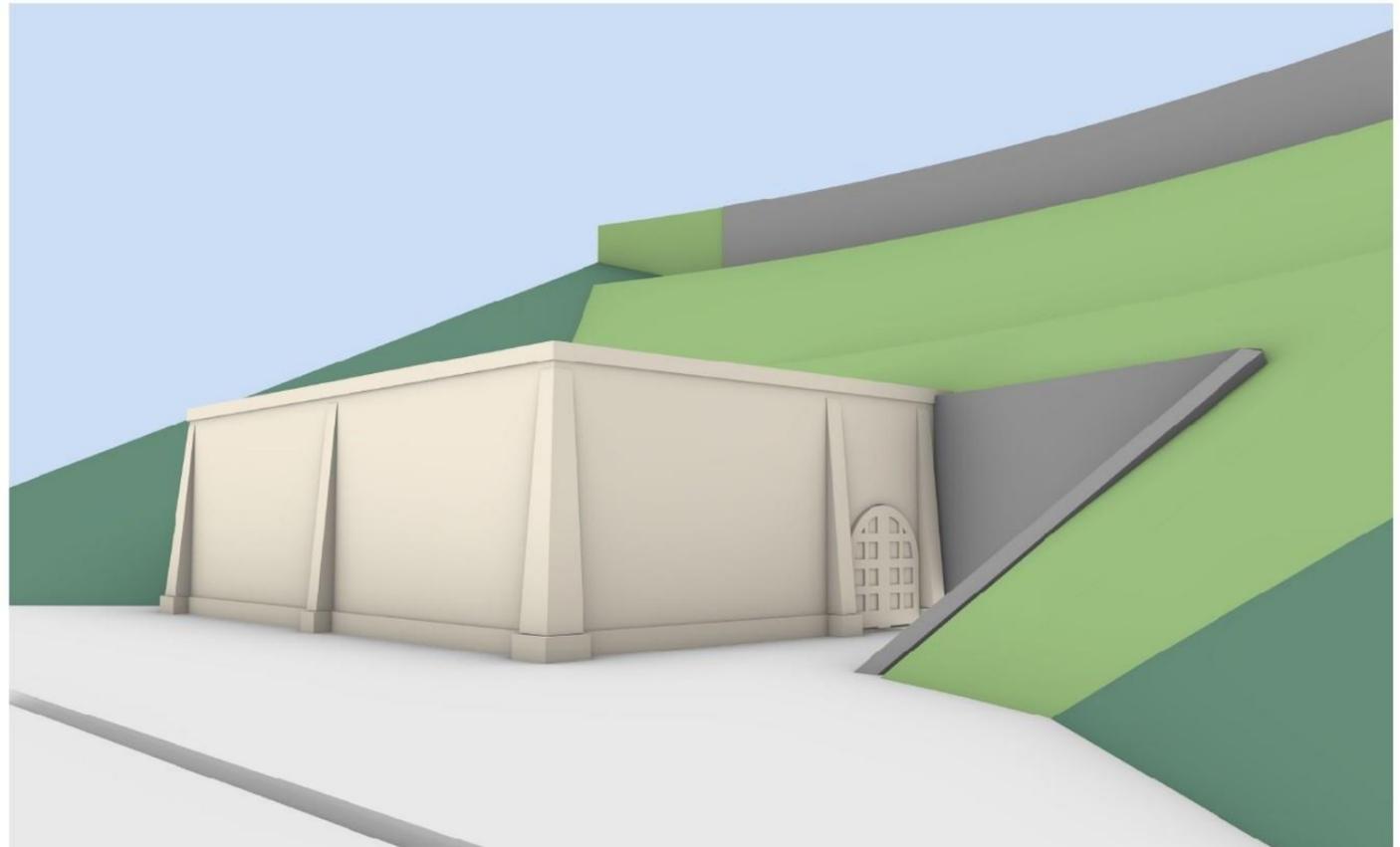
0 10M

国立療養所長島愛生園「監房跡」 保存（活用）整備基本設計案 劣化・破損防止/保存修復・活用のための短・中期整備案（2 / 2）

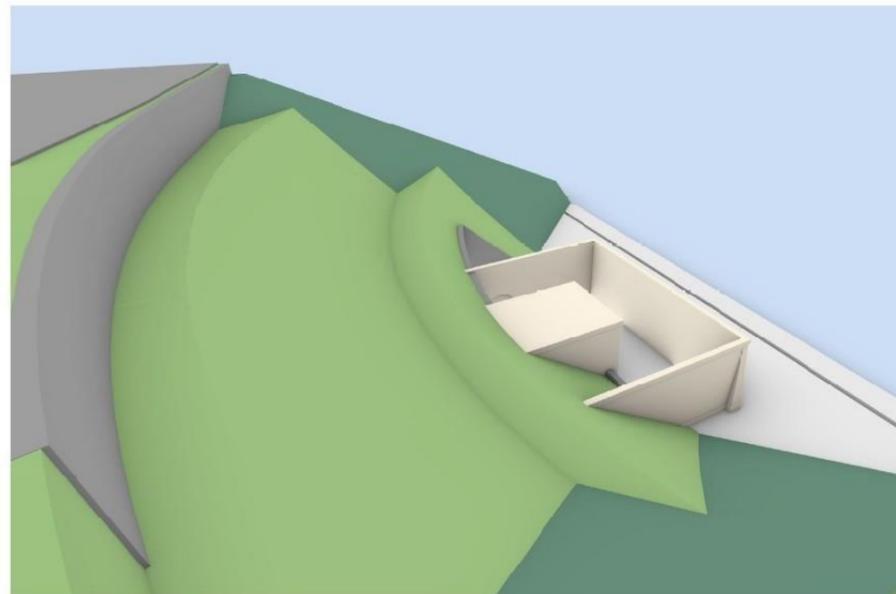
イメージ図



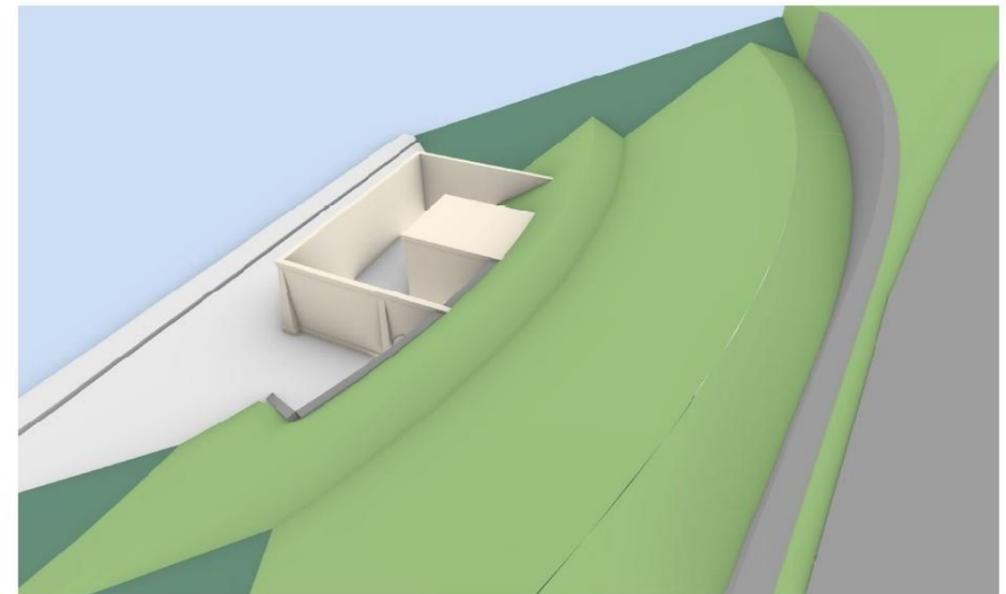
正面からみる



入口付近を見る



道路から見下す（納骨堂側）



道路から見下す（本部側）

国立療養所長島愛生園 2021 年度 国指定史跡範囲イメージ (3 案中、範囲最小) (案)

